

「面白い山」を考える

昔々、某山岳雑誌のお手伝いをしていて、Q&Aのページを担当していた。

「どこか面白い山、教えて下さい」というQが来た。その時、ぼくは思った。山は山だ。面白い山もつまらない山もない。そこには山があるだけ。面白いかつまらないかは、形而上の問題である。

問題解決のために、「面白い山研究会」を発足させることにした。その旨、あっちこちにメールを送ったら、何人かの方からメールが返ってきた。皆さん、山は面白いとの連絡だった。面白いと言われると、なにが面白いの、と聞きたくなるのが人情だ。なんて、イジワルなことは言わないで、ぼく自身が面白いと思った山や面白いと思ったことを紹介しよう。

まず、1月3日に登った宝登山。分県登山ガイドの埼玉県の山は、打田鉄一さんが書いていらっしゃる。あっちこちの面白い山を登り、案内して下さる。打田さんのガイドに従って、一般コースからはずれたら道が不明瞭になった。不明瞭な道をうまくつないで目的地に到達、それが面白かった。

昨年登った山だが、般若山～釜ノ沢五峰も面白かった。これは岩山でスリルがあって面白かったのと、意外に花が多かった。

3月下旬の南会津も良かった。高倉山から神籠ヶ岳を残雪を利して縦走しようという計画だった。浅草駅から乗る東武線の電車も、会津高原駅までは、そこが尾瀬、桧枝岐の入口だから何回か通っていて物珍しくないのだが、その先は、チャンスがないとなかなか足を伸ばせないエリアということになる。

セヶ岳の風貌がくっきりとしていて良かった。まだ登っていないので、登りに行かなくてはと思わせる。

会津下郷駅で下車、タクシーで高倉山の登り口まで送ってもらう。この辺りという所でタクシーから降りる。道標があるわけでなし、適当に登って行く。この「適当」が面白い。

高倉山を越えた先で幕営。夜中は満天の星空だったのに、朝になったら、雨混じりの雪。高倉山の頂に立ったことで善しとし、茂峨沢の右岸尾根を下る。

地図上に神社の記号がある。その神社にどんぴしゃ下る。面白かった。来年はこの尾根を登り返して、神籠ヶ岳へ足を伸ばしたいと考えている。

6月20日に谷川岳に登った。若い人が半数くらい居たように思う。27日に会津朝日岳に登った。若い人も何人かは居たが、ほとんどは中高年登山者。若い人はキャリアが少ない分、有名な山に集中するようだ、それが面白かった。

7月2日は、奥多摩むかし道を歩いてきた。頂上はない。ほとんどが車道歩きだったが、面白かった。なにが面白かったのだろう。よく分からない。

「面白い山研究会」で考えてみることにしたい。